



第九たいむず

Beethoven

No.11 2015.8.13 通刊1153号 担当 Kei

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(あきら)



地球温暖化の影響なのでしょう、猛暑が続き、集中豪雨が発生し、世界のあちこちでも異常気象が起きています。この暑さももう少しの辛抱と自分に言い聞かせ、体調管理をしっかり行って8月を元気に乗り切りましょう。

◆ 先週の駐車料金の精算状況

先週、第1回目の駐車料金の精算を受け付けました。

ソプラノ 8名 アルト4名 テノール1名 バス3名 計16名でした。

今回精算されなかった方は領収書を保管していただき、1回200円以上の領収書を5回分貼り名前を記入して、9月3日(木)の練習時間内に提出してください。

精算日は毎月第1木曜日のみとなります。

◆ 先週のおさらい

♪ハレルヤ

“ハレルヤ ハレルヤ”の“ル”にアクセントをつけて歌いましょう。

P7の C からは、前の旋律と違い、ゆったりと上品に歌いだす。

♪クリスマスメドレー

クリスマスメドレーは、それぞれ強弱をつけて、リズムに乗り、明るく歌いましょう。

◆ クリスマスメドレーⅢ 練習用CD配布中

女声用(ソプラノ、アルト)男声用(テノール、バス)各@200円、バス大里さんまで。

◆ サマーレッスン参加受付中

サマーレッスンを8月23日(日)9:30~16:00 中央公民館で行います。

また、お弁当(550円/栄寿亭のカツ丼&お茶)を希望される方は本日までに代金を添えて申し込んで下さい。

なお、申し込みをしていない場合でも当日参加はOKですので、ご都合がつく場合はぜひ参加してください。(その場合昼食はご自分でご用意ください)

◆ 今後の予定

8月23日(日) サマーレッスン兼海外特別練習⑧(中央公民館大ホール)

10月17日(土) 18日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)

11月 6日(金) ドイツ・トリアー公演(現在90名、まだまだ参加者募集中)

12月19日(土) 第42回第九演奏会(群馬音楽センター)

◆ イベント情報

★群馬オペラ協会結成 10周年記念公演『みづち』 9月6日(日)前橋市民文化会館大ホール

アルト菊池きよさんがみづち合唱団の一員として出演します。

詳細問い合わせ、チケット等は、アルト菊池さんへ。

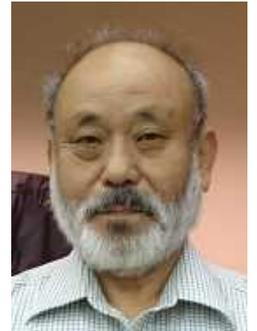
★群響創立70周年記念オペラ『蝶々夫人』 9月19日(土)桐生公演 9月23日(水)前橋公演
テノール外處さんが合唱で出演され、桐生公演では諸田広美さんがすずき役で出演されます。
指揮 三ツ橋敬子、演奏 群馬交響楽団、チケット発売中 詳しくはチラシをご覧ください。

★日本とロシアの音楽の歴史的交流「音楽の架け橋」 9月23日(水) 14:00開演
高崎シティギャラリー コアホール
ユリヤ・レヴ先生が出演されます。 @2,500 円 詳しくはチラシをご覧ください

◆ 新人さんより自己紹介③

テノール: 飯田英世さん

今年3月、本高崎第九合唱団に入団させて頂きました飯田英世と申します。
4月から自分で自由になる時間が持てる様になり、これから続けられる趣味を持ちたいと思っておりましたところ、本合唱団に誘っていただく機会があり、思い切って入団いたしました。合唱に興味を持ちましたのは小学校での音楽の授業でしたが、その後、きちんとした音楽の勉強をしたこともなく、正直、楽譜も読めません。でも音楽を聴くことはずっと好きでした。これからは聞くだけでなく歌うことも加えて音楽としての趣味を広げてゆきたいと思っています。何の道も奥が深く一筋縄ではいかないと思いますが、あまり気負わず続けてゆくことがまず大切と思っています。今はまだ譜面を追いかけるのが精一杯で発音も何もあったものではありませんが、全員で気持ちを一つにし、一体となって合唱を歌い上げる喜びを練習の中で少しずつ体験して行けたらと思っています。皆様からのご指導をよろしくお願い申し上げます。



◆ 赤羽先生からの投稿

「ああ、恥ずかし」

これは小説新潮に掲載されているコラムを編集した新潮文庫のタイトルです。阿川佐和子、藤田弓子、林葉直子、吉永みち子等、各界の著名女性70名がそれぞれの失敗談を書いています。人間は他人の失敗談には興味を持ち、同感したり、馬鹿にしたり、私はそんな失敗はしないわ、と優越感に浸ったりで兎に角この本を読みながら余りの滑稽さに一人で笑い転がっていました。私は毎週新幹線に乗って出かけていますが、この時間が私の読書タイムです。一人で新幹線の中で笑い転がっている姿も結構恥ずかしいものがあります。私自身の恥ずかしい話を白状しましょう。

ある日たまたま私が店にいた時、一人のお客様が「サーカスありますか？」 私はすかさず「今高崎にサーカスは来ていないと思いますよ」 店員が「洋子さん、サーカスはグループ名ですよ」

同じように私の父は公務員でした(赤羽楽器は母がしていました)。たまたま店にいた父に、お客様が「こうもりありますか？」 父は「こうもりはレコード屋ではなく洋品店に行ってください」とすまして言いました。 とんちんかんな父子なのです。

私の究極の恥ずかしい話では、私は強度の近視でコンタクトレンズをしています。毎朝入れて毎晩だして、15歳から殆ど無意識に55年も繰り返しています。ある日右眼を入れて左を入れようとしたらコンタクトが見つかりません。いくら探しても無いのです。諦めてメガネにしようコンタクトを外しました。そしたらなんと、右眼からコンタクトが2枚出てきました！ いくら周囲を探しても無いわけです。自分のそそっかしさに呆れ、でも買わないで済んでホッとして！

皆さんも恥ずかしい話、お持ちではないですか？

◆ 「ああ、恥ずかし」の続編

外處さんより早速「ああ、恥ずかし」の投稿がありました。ありがとうございます。

あれは遠い20歳のころ、ジーンズを買いにお店に行きました。店員さんが「いくつですか？」と聞いてきました(もちろんサイズのことです)。私はすました顔で「二十歳です。」と。年齢聞かれるはずもないのに。必死に笑いをこらえる店員さん。私は顔が真っ赤になりました。 ああ、恥ずかし。

皆さんもこんな経験ありませんか？ どんどんお寄せください！ お待ちしています！